

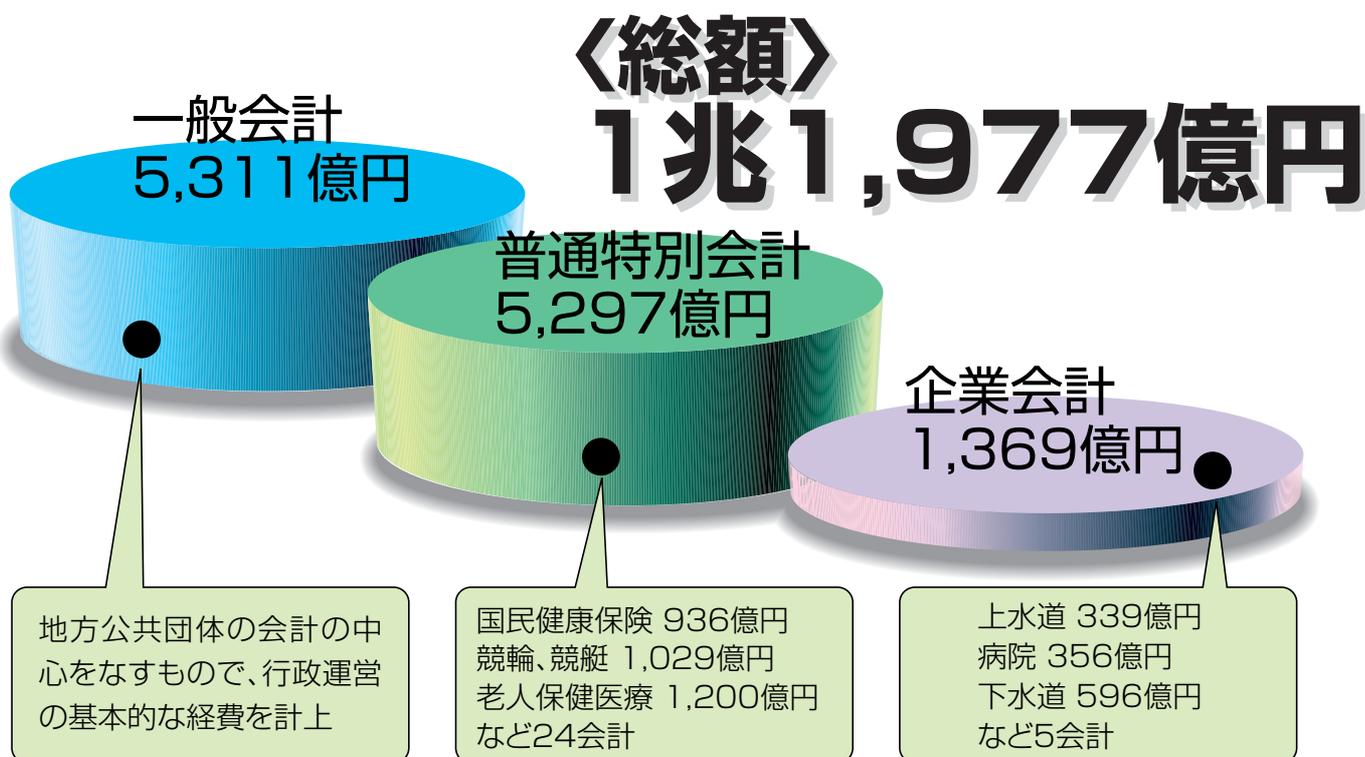
②北九州市平成14年度予算

1. 平成14年度当初予算の概要

北九州市では、「北九州市ルネッサンス構想」の実現へ向けて、様々な施策に取り組んでいます。

平成14年度は、「厳しい経済情勢のもと、市民生活の充実を図る堅実予算」として、都市再生と持続可能な財政運営を目指し、予算を策定しました。

北九州市の予算は、一般会計・普通特別会計・企業会計の3つに区分されており、この3つを合わせることによって、市の行政全体の概要が分かります。また、平成14年度から新たに空港関連用地整備特別会計及び学術研究都市土地区画整理特別会計が、普通特別会計に加わりました。



■予算総額と前年度比較

(単位：億円)

区分	平成14年度 当初予算額 a	平成13年度 当初予算額 b	比較 (a-b)c	増減率 $\frac{c}{b}$
一般会計	5,311	5,670	△359	△6.3 %
普通特別会計	5,297	4,854	443	9.1
計	10,608	10,524	84	0.8
企業会計	1,369	1,369	0	0.0
合計	11,977	11,893	84	0.7

32頁参照

2. 平成14年度当初予算の特徴

厳しい経済情勢のもと、市民生活の充実を図る堅実予算

—都市再生と持続可能な財政運営を目指して—

平成14年度予算は、北九州市を取り巻く厳しい財政状況のもと、雇用の積極的創出・環境・教育・福祉など市民生活の充実を図る堅実な予算編成を行いました。また、都市再生など今やるべきことには果敢に取り組み、併せて、将来の財政運営の展望を示せるよう、これまで以上に予算にメリハリをつけ、持続可能な財政運営を目指しながら、各種施策を着実に実行していくこととしました。予算内容を主要な施策ごとに、次の5つの柱で整理しました。

●環境未来都市の創造

21世紀を環境の世紀と捉え、将来の世代と共有できる良好な環境を継承するため、本市がその牽引役となるよう「環境未来都市づくり」を推進します。

- ・「環境ミュージアム」を拠点とした環境教育・環境学習の推進
- ・北九州エコステージ事業
- ・PCB適正処理推進事業
- ・ごみ資源化・減量化対策事業
- ・「リオ+10」への参加 等

●未来を見すえた都市基盤の整備

「学術研究都市」の充実や産学連携の推進、新規成長産業の創出・育成、情報化の推進を図るとともに、物流基盤の整備や交通ネットワークの強化、都市の面的整備など、未来を見すえた都市基盤の整備に取り組みます。

- ・北九州学術研究都市北部土地区画整理事業
- ・「SOC設計センター」整備推進事業
- ・響灘大水深港湾の整備
- ・新北九州空港の整備促進
- ・東九州自動車道の整備促進
- ・新若戸道路整備事業
- ・室町一丁目地区市街地再開発事業の促進 等

●雇用対策プロジェクトの推進

現下の厳しい経済情勢を踏まえ、新たな雇用創出と再就職の促進を積極的に図るとともに、中小企業の安定化と経営支援、地域商業対策に取り組みます。

- ・緊急雇用創出事業
- ・再就職トータルサポート事業
- ・中高年能力開発就業促進事業
- ・中小企業支援センター整備・運営事業
- ・商店街マネジメント支援事業 等

●福祉、教育・文化の充実

総合的な少子・高齢社会対策や医療・救急体制の充実などを図るとともに、ゆとりとおいのある教育環境の整備や文化・スポーツの振興に取り組みます。

- ・(仮称)北九州市子ども総合センター
- ・在宅介護支援センターの充実
- ・緊急通報システムの充実
- ・市立門司・若松病院の改築
- ・「総合的な学習の時間」の実施
- ・(仮称)自然史博物館・歴史博物館、戸畑駅南口複合公共施設(ウェルとばた)のオープン 等

●生活者の視点に立った暮らしやすいまちづくり

生活者の視点に立った快適でおいしい生活環境の整備を行うとともに、都市防災体制の整備や近隣市町村との交流・連携の推進、観光の振興などに取り組みます。

- ・生活道路等緊急整備事業
- ・バリアフリーのまちづくりの推進
- ・市営住宅の整備
- ・到津の森公園のオープン
- ・消防局本部庁舎開庁、総合消防情報システムの構築
- ・福北連携による高齢者施設相互利用事業
- ・小倉城400周年記念事業 等

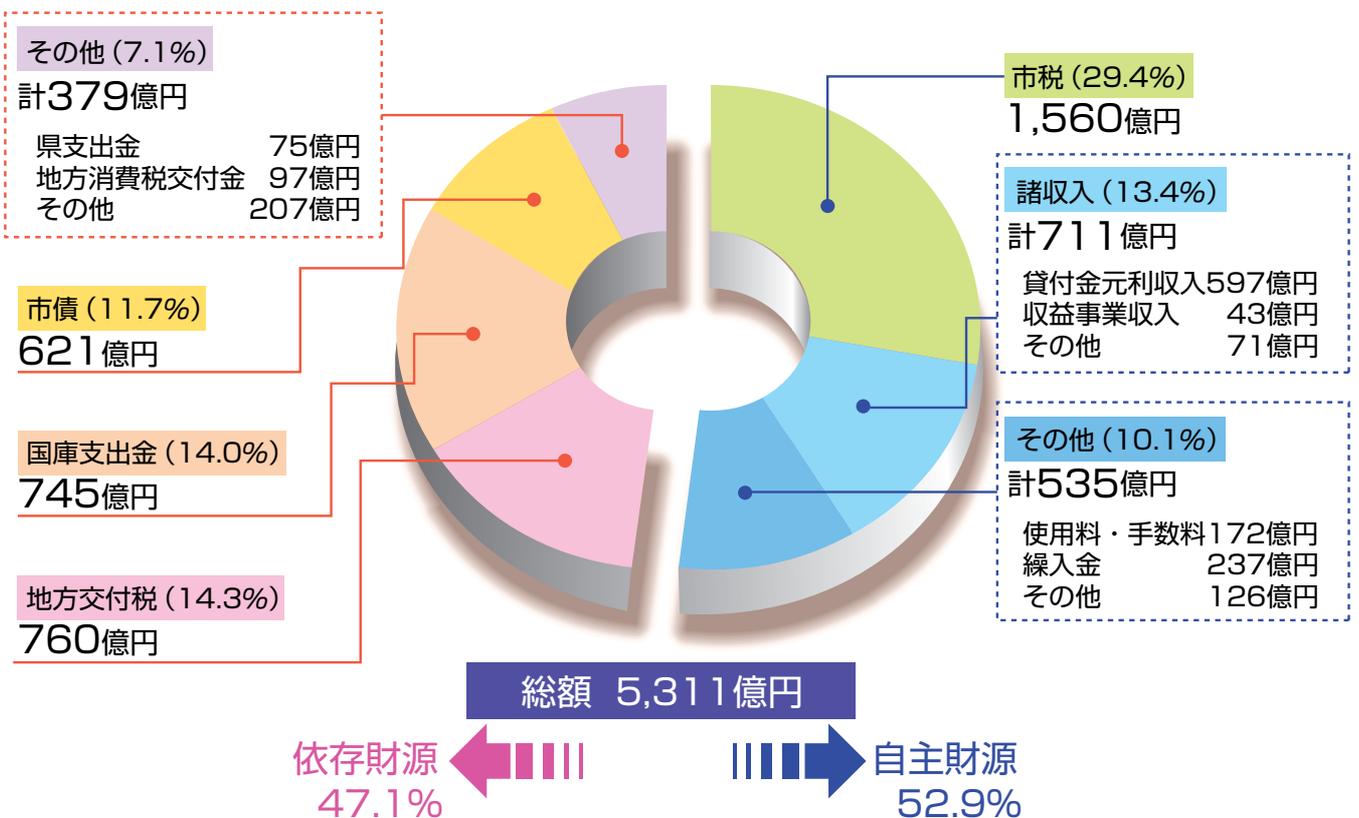
用語解説

- 一般会計 教育・ごみ収集・生活保護など、市の基本的な事業に関する会計です。
- 普通特別会計 国民健康保険など特定の事業を行うため、一般会計と区分して処理するための会計で、企業会計以外のものをいいます。
- 企業会計 水道事業や病院事業など、企業的な性格を持った事業を行う会計です。

3. 平成14年度一般会計予算の内訳

●歳入

■市民生活の向上のために様々な仕事（施策）が行われていますが、それを支えるためには、財源が必要となります。財源には市民税や固定資産税などの市税、自治体の財政力に応じて交付される地方交付税、国や県からの補助金、借入金である市債などがあります。



33頁参照

用語解説

歳入

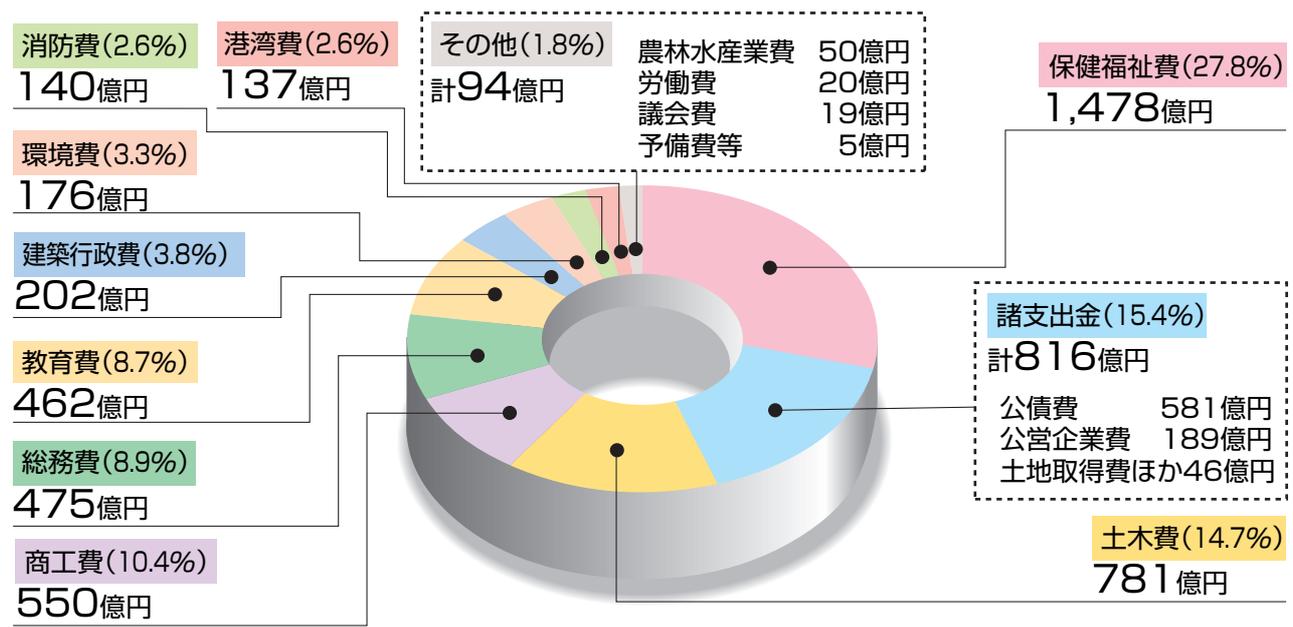
- 繰入金 財政調整基金や公債償還基金など各種基金の取り崩し等により、一般会計へ繰入れを行うものです。
- 収益事業収入 本市では、競輪事業、競艇事業及び宝くじ事業の3つの収益事業を行っています。各事業で得られた収益の一部を一般会計で行う各種施策の財源とするものです。

歳出

- 扶助費 生活保護費や保育所などの運営費、医療費の援助や各種手当の支給などに要する経費です。
- 公債費 市債の元金、利子の支払いに要する経費です。
- 物件費 学校など公共施設の光熱水費や管理運営経費、ごみ収集車両のガソリン代など、行政事務を行ううえで消費される経費です。
- 補助費等 公営企業や外郭団体、その他各種団体等に対する負担金や補助金などにかかる経費です。

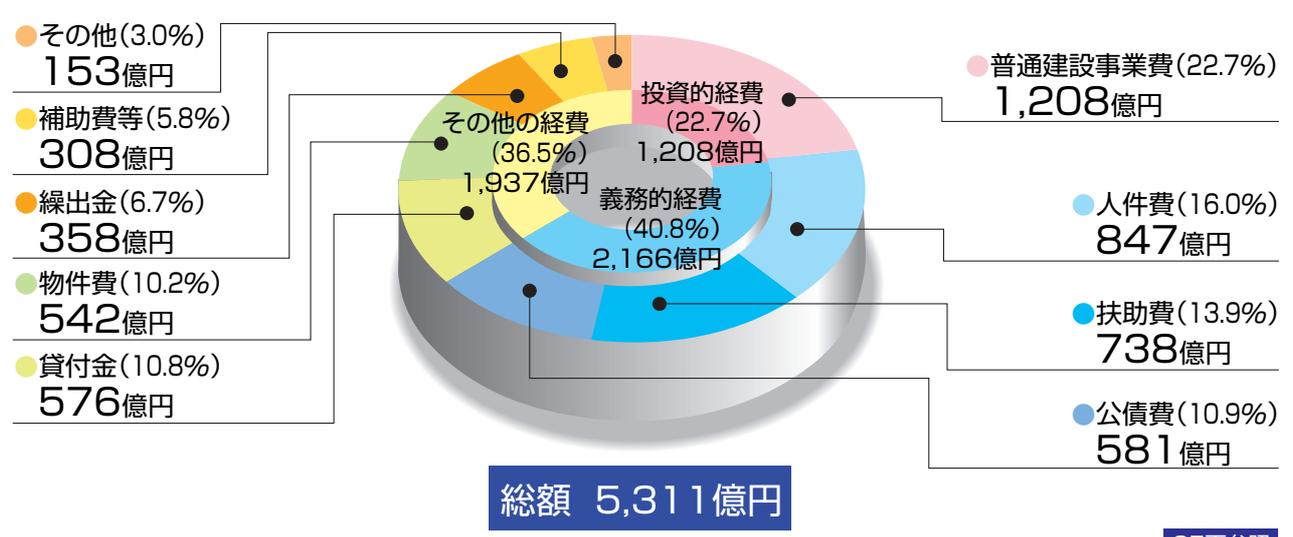
●歳 出

■歳出をその行政目的別に分類すると、本市の予算がどの分野にどれだけ配分されているかがわかります。



34頁参照

■歳出をその性質別に分類すると、本市の財政構造がわかります。



35頁参照